



秋です。天高く、人肥ゆる秋…？

皆さんこんにちは！菅原建設ライフケア事業部です！！

季節は 10 月。秋ど真ん中ですね！

「天高く、馬肥ゆる秋」と言いますが、実はこの言葉は馬が夏の間栄養を取ったので、戦いが始まるぞという警告、畏怖の意味で使われていたそうです。今ではすっかり秋ののんびりとした光景が連想されるのですが、元々の意味を知ると感慨深いですね。

さて、秋は美味しい物がたくさんありすぎて、「天高く、人肥ゆる」にならぬようご用心ご用心…

それでは今月号もよろしくお祈りします



今月の特集 どうなる?? 社会保障

(すかはらの意見)

社会保障の給付と負担(平成 28 年度)

給付

年金 56.7 兆円

医療 37.9 兆円

その他福祉
13.9 兆円

介護関連 10.0 兆円

負担

保険料 66.3 兆円

税 45.4 兆円

被保険者 35.6 兆円

事業者 30.9 兆円

国 32.2 兆円

地方
13.1 兆円

上図は、昨年度の日本における社会保障給付と負担を表にしてみました。現在衆議院選挙が真っ盛りであり、消費税の使い道も争点となっていますが、消費税 2% を増税して約 5 兆円の歳入が増加となっても、社会保障の根本的な解決にはならないのが一目瞭然です。本来、健全な社会保障は国民から徴収すべき保険料で賄う事が出来ればいいのですが、残念ながら厳しい状況は今後も続いていく事になりそうです。

今後、高齢者の大幅な増加が見込まれていることから、年金医療介護関連給付も飛躍的に増加し、それに伴い徴収保険料の増額が国民に課せられるのは明白です。

さらに国の施策として、「**社会保障総額は上限が決められている**」という点があります。現在厚生労働省では、社会保障の総額上限を決めて予算割をしているため、その予算枠で医療・介護・年金その他福祉・生活保護が割り当てられているため、国の税収が伸び悩んでいる現在（例え消費税を増税しても）、支給人数が増えても、そ

れに伴う給付はさほど伸びず、むしろ減額されていく事に成り得るでしょう。日本大ピンチ状態です。

この状況を変えていく、つまり私たちが年齢を重ねていっても社会保障サービスを恙なく受けられるにはどうしたら良いでしょうか？

| | |
|---------------|---|
| ① 年金支給年齢引き上げ | 前図のとおり、社会保障の半分近くを占める年金の支給額を減らす事により、社会保障総体費用を減らす |
| ② 医療費負担引き上げ | 現在健康保険料は3割（後期高齢者は1割）の負担率を上げ、保険適用額を減らす |
| ③ 各種保険料の引き上げ | 強制保険（社会保険料、介護保険料）の引き上げ |
| ④ 消費税額の引き上げ | 今回の与党が掲げる2%増加どころではなく、更なる大幅増加 |
| ⑤ 景気拡大による税収増加 | あくまでも短期的効果しかありませんが・・・ |

いかがでしょうか？ほとんどが私たちに痛みを伴う事ばかりですよ。

正直、社会保障改革は「待たなし」なのですが、今の選挙上記の点を実行するという政党・・・無いですよ（笑）
（景気回復・拡大はほぼ全ての政党が掲げていますが）

これらの事を公約に掲げると絶対票が入らないという・・・

そろそろ日本も建前の政治から脱却してもらいたいような気がします。

そして私たちも社会保障サービスの一環にかかわる会社として、今後も注視していく必要がありますね。

今回はちょうど選挙戦真っ最中ということでちょっと難しい特集になりました。来月からはまたやんわりとした内容にしていきますので、またご一読ください。

秋といえば・・・福祉用具新製品が 発表されます(ご存知でしたか?)

毎年秋になると、各メーカーが様々な福祉用具の新製品を発表しています。各地で福祉用具展展示会も盛んに実施されています。そんな中から最近発表された製品をいくつかご紹介します



キャタピラ付車いす

- ・階段も昇れる
- ・坂道も登れる
- ・溝も乗り越えられる
- ・その場で360度回転



車いす付ベッド

- ・ベッドから車いすが独立
- ・「移乗」がない
- ・重介護者の離床促進
- ・介護負担の大幅軽減

福祉用具貸与上限価格設定制度 はじまりました

2018年の介護保険法改正に伴う福祉用具貸与上限制度がスタートするに伴い、福祉用具のコード記載が必須になりました。これは上限価格を設定するのに伴い、商品1つ1つをTAISコードで集計し、平均価格を出すシステムです。この法改正は福祉用具製品の単位を日本全国より共通化し、製品ごとの平均単位情報を利用者及び関係者に提供することを目的としています。福祉用具貸与価格はご存知のとおり、業者により単位数がバラバラであり、不当に高い価格で提供する業者を排除する事が出来るようになると考えられます。裏を返せば、日本において介護保険及び利用者を食い物にしている悪徳(?)福祉用具業者がまだまだ潜在的に存在している事がわかります。

菅原建設のカタログを見て頂ければわかりますが、当社の単位数は全て安心価格となっておりますので、是非ご安心ください(^)